

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和6年1月30日（13人中13人回答）

鳥取県看護協会ナーシングデイこすもす

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	6	1	・基準である「1人につき6.3㎡のスペース」をとっているが、感染対策として間隔をとるよう努めているので、狭いと感じている職員もいた。
	2	職員の配置数は適切である	7	6	0	・人員配置基準の利用者1.5人に対し職員1人の基準は適切である。ただ、送迎が重複した場合など職員が少なく感じることもある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	12	1	0	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加している	8	5	0	・朝礼、終礼を実施し情報の共有、改善策を話し合い実践している。できない場合は情報共有できるように日誌に記録し各自確認するようにしている。毎月1回職場内会議を開催し業務改善、情報共有、勉強会の場に行っている。今後も継続する。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	11	2	0	・今後も1年に1回調査を行い業務改善につなげていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10	1	2	・毎回ホームページで公表している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	5	3	・安全サービス管理委員会開催は年に2回行った。第三者評価は行っていないが今後必要ならば取り入れたい
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	13	0	0	・事業所が主導で行っている医療的ケア児者の研修に参加している。職場内会議時に全体で学習をしたり、医療機器メーカーに来所してもらい研修を受けたりしている。新入職者に対しては他事業所での実習も行っている。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	10	2	1	・契約時や初回利用時などに本人を交え、保護者からの聞き取りの中で必要と思われる支援を計画に盛り込むようにしている。今後はさらに保護者からの意向を盛り込みながら立案していく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	6	4	・標準化されたものは使用していない。現在、児童指導員を中心にアセスメントツールの検討、活用を考えている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	10	2	1	・児童指導員、保育士を中心にして四季に合わせた行事やイベントを行っていく
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	4	1	・季節に合わせた創作活動など短時間でできるようなものを準備し一緒に行っている。主に個別活動を中心に保育士・児童指導員主導で実施中。	
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	6	1	・平日は入浴と注入をするだけで終わってしまうので、長期休暇時に個々に合わせた支援の設定を継続していく。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	7	0	・毎日の活動計画に合わせて実践している。その時の利用者の状態に合わせて活動も臨機応変に変更しながら対応できている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	4	3	朝礼で担当同士で簡単な打ち合わせを行うようにしているが、毎日必ず実施できているとは言えない。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	2	2	・終礼をし情報共有を図るようにしている。伝達事項は業務日誌に記入する、翌日の朝礼で伝えるなどしている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	4	0	・カルテの記録不足がみられることがあり。日々の支援記録が充実するよう検討していく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	11	2	0	・毎月受持ちが月間評価をしているので、それをもとに児童発達支援管理責任者がモニタリングを実施している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5	7	1	・職員全員で熟読し話し合いを行いながら今後は検討していく
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	11	2	0	・児童発達支援管理責任者もしくは受持ち職員が参加している。その時の会議の内容に合わせて理学療法士、児童指導員も参加する場合もあり。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	11	2	0	・送迎時に学校での様子を必ず聞くようにし、帰所後に他職員に伝達している。 ・支援者会議などにも参加できている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	12	1	0	・事業所独自の医療的ケアに関わる指示書を主治医にもらい、それに沿って支援している。指示書は毎年取り直しをする
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	4	2	・情報共有をする体制はあるので、必要があれば行っていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	10	3	0	・当事業所内での移行の方しか経験をしていないが、今後そのような場合があれば連携をとっていく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	5	2	・対象の方があれば行っていく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	3	8	・コロナ禍でできていなかったが今後は交流を図っていく
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	3	8	2	・担当者、相談支援専門員は参加している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10	3	0	・送迎時、デイでの様子をお話している。連絡帳も利用し伝達している

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	6	5	・デイ利用時に感じたことや、家での様子や関りなどを聞き、よりよい支援の方法と一緒に探し出すなどを行うようにしている。ペアレントトレーニングについては研修修了者に伝達講習を受ける。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	11	2	0	・契約時に説明するものを行っている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	11	2	0	・個人で対応できないことは、職員間で話をするなどして対応するように努めている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	4	6	・コロナ禍でできていなかったが、今後は何か企画したいと考えている
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10	3	0	・全員に共有し検討、体制の見直しを行っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	11	2	0	・まちこみメールを導入し情報を一斉に送信している。定期的なブログの更新、年に2回の広報紙の発行も行っている。今年は玄関に「こすす掲示板」を置き、事業所内の様子を文字と写真で貼りだすようにした。今後も事業所内での様子など発信していく。
	35	個人情報に十分注意している	12	1	0	・写真の利用については保護者アンケートをとり利用してもよい方のみ利用させていただいている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11	2	0	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	10	2	1	3周年イベントを開催し地域の方々にも参加していただいた。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	10	2	1	マニュアルは作成してあるが保護者には周知していない。ホームページに掲載するなどして周知していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	12	1	0	年に2回避難訓練を行っている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	11	2	0	虐待防止委員会を立ち上げ定期的な話し合い、職場内会議での読み合わせ等も行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	8	0	上記委員会同様、身体拘束委員会を立ち上げ話し合いの場を設けている。拘束が必要な利用者はないので計画記載もしていない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	4	0	該当なし
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	13	0	0	ヒヤリハットが提出されたら職員で共有検討しファイルしている。